

あれ

これ

町政を問う

質問者



松本 一二美 議員

Q

校庭を芝生化に

A

要望を聴いて対応します

問

パソコンやテレビゲームの普及で、子供たちの体力低下が心配。校庭の芝生化は、けが防止や屋外遊びの活性化・砂ほこり防止などに効果がある。また、維持管理を通じて環境学習教材になる。

答

赤星教育長

健康の増進、心の滋養、優しい環境などいい面は多いのですが、使用頻度が高い校庭は管理と費用面で問題があります。将来的には、部分的な取り組みとして考えていきます。



共働きの家庭が増加。放課後児童クラブのニーズはますます高い。保護者から要望の多い時間延長の考えは、夕方、子どもが巻き込まれる事件が多発しているが、帰宅時の安全対策は、

問

児童クラブの充実を



校庭

答

午後6時まで時間延長

永田福祉課長

9月1日から午後6時まで延長します。帰宅時の安全対策は、退所時間が夕方になるため、基本的に児童保護者の責任での迎えを指導し、安全の配慮をしていきます。障害児童への適切な配慮が図られるよう、指導員に対する研修も充実させ、支援に努めていきます。

問

不妊治療費の助成を

不妊症は、妊娠を望みながら2年以上妊娠に恵まれない状態。医学的措置を必要とする場合、保険適用外も多い。人工授精で2〜3万円、体外受精で25〜50万円、顕微授精で約50万円と高額。町独自の不妊治療助成の考えは。

答

町の助成も考慮

白石町長

「特定不妊治療助成制度」として平成16年度から国の助成があり、愛媛県では10万円を限度として5年間助成を行っています。県内で、16年度に84件、17年度に108件助成されています。松前町としても、少子化対策を考える中で、不妊治療助成等も考えていきます。